

～第66回企画展紹介～

上野原縄文の森
第66回
企画展

きゅら島あまみの歴史と文化

～奄美・徳之島世界自然遺産登録・奄美群島日本復帰70周年記念～

展示期間

令和5年

4/22(土)～
7/2(日)

展示場所：上野原縄文の森 企画展示室

鹿児島県は南北約600kmと多くの島々が連なり、人々の文化や動植物の生育が大きく異なる地域です。奄美大島・徳之島は、沖縄本島北部・西表島とともに世界自然遺産に登録され、持続的な自然環境の保全と観光振興の両立が期待されています。そこには、世界的に貴重な固有種や絶滅のおそれのある動植物が生育するとともに、大陸及び近隣島々との交流を繰り返しながら、築き上げられた豊かな文化史も数多くあります。奄美群島日本復帰70周年を記念し、奄美群島の多様性と独自性に目線ながら、近現代の奄美群島の発掘調査成果を紹介します。

企画展講演会

日時 令和5年6月3日(土)
10:00～12:00

場所 上野原縄文の森 多目的ルーム
講師 (公財)埋蔵文化財調査センター
調査第二係長
川口雅之

定員 80人
資料代 100円

おもなわとうしきと
面縄東洞式土器
(嘉徳遺跡：瀬戸内町)【河コレ】



コラム

縄文というロマンに触れて。

広報担当



「約1万年前の火山灰の地層から、土器や石器などの遺物が…」と導入部分を聞いただけで、頭の中のどこかのドアがパタンと音をたてて閉まるのは私だけではないだろう。私自身、この仕事に携わるまではそうであった。苦手ながら勉強し、考古学の世界に触れていくうちに、考古学の世界の奥深さや、上野原の縄文文化の先進性、縄文人たちの高い技術に感服し、気づけばすっかり心も縄文人になっていた。1万年を越える遙か昔、この地に暮らし、生き抜いた人々の姿。想像もつかないがここ上野原に来ればその息吹を感じることができる。慌ただしい現代社会を生きる私たち。たまには縄文時代にタイムトリップしてみませんか？

【開園時間】午前9時～午後5時(展示館入館は午後4時30分まで)

【休園日】毎週月曜日(休日に当たるときは、その翌日)

12/30～1/1(年末年始)、2月中旬(臨時休園)(1/2～1/3、4/29～5/5、8/13～8/15は無休)

【展示館利用料金】(団体は20人以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料

◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 320円

◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 250円

(鹿児島県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)

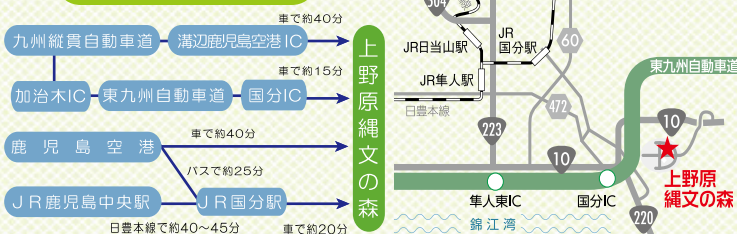
(団体でご利用(展示館・体験学習館など)の場合は事前にご相談ください)

◇鹿児島県内にお住まいの70歳以上の方は、展示館利用料金が無料です。

◇鹿児島県内にお住まいの小・中・高校生は土・日・祝日に限り、展示館利用料金が無料です。

(いずれも年齢等が確認できる書類をご持参ください。)

アクセス



公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 上野原縄文の森

〒899-4318 霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話 (0995) 48-5701 FAX (0995) 48-5704

URL <https://www.jomon-no-mori.jp> E-mail : uenohara@jomon-no-mori.jp



上野原縄文の森だより

UENOHARA JOMON NO MORI

2023.4
Vol. 44



■ 近日開催のイベント紹介

■ 開園20周年記念

関連事業を終えて

■ 第66回企画展紹介

九州最古の土偶。

8,600年前の出土品で国指定重要文化財。

女性を表現しており、安産祈願や病気の身代わりとして“祈り”を込めて作られたと考えられている。高さ約5センチ。

上野原遺跡からの出土品で、縄文の森展示館に常設展示。

～近日開催のイベント紹介～

つくってドキドキ体験

これでキミも縄文人！古代の人の知恵や工夫に気づく縄文体験にチャレンジしたり、縄文の森の太古の自然に親しむ体験ができます。



6月17日(土) 受付開始：4/18(金)

縄文クッキーを作ろう

7月23日(日) 受付開始：5/23(金)

縄文土器を作ろう

8月11日(金) 受付開始：6/11(日)

縄文人の狩猟道具「弓矢」作り



(令和4年度)
縄文土器を作ろう



(令和3年度)
めざせ縄文人！弓矢作り

考古学講座

年間を通して、各分野のスペシャリストを講師に招き、様々なテーマについて深く学ぶことができます。座学だけでなく、講座によってはフィールドワークも行います。



4月15日(土) 受付開始：4/1(土)

探検！上野原遺跡

5月20日(土) 受付開始：4/1(土)

新！国指定史跡鹿兒島城のヒミツ

7月1日(土) 受付開始：4/1(土)

はじめての考古学～ドキドキ縄文土器～



(令和4年度) 歩いて楽しむ！
上野原遺跡ウォークラリー



(令和3年度)
火山災害と縄文人

縄文の森不思議探検

遊びをとおして学ぶことはたくさんあります。県立博物館の先生を講師に招き、みんなで縄文の森の不思議を解き明かせ！

9月23日(土) 受付開始：7/23(日)

縄文の森でむしを探そう



(令和4年度)
縄文の森でむしを探そう



(令和4年度)
縄文の森から星座を観察しよう

※各イベントの申込みは電話、FAXまたはホームページからお願いします。

開園20周年記念 関連事業を終えて

記念企画展 「南の縄文文化～縄文人の心を探る～」

10月5日に開園20周年を迎え、9月17日から11月23日まで記念企画展を開催しました。

高い芸術性と高度な制作技術を備えた土偶、土器、装飾品など“縄文人の精神文化”に焦点を当て、世界遺産に認定された北東北の遺跡群から、屈折像土偶（青森県）など貴重な資料を県内初展示しました。延べ六千人以上が観覧に訪れ、10月には霧島市役所にて記念フォーラムを開催しました。



開園20周年記念
企画展開場式



開園20周年
記念フォーラム

縄文シティサミットinきりしま

上野原縄文の森開園20周年を記念し、全国16の縄文都市が加盟する縄文シティサミットが霧島市にて開催されました。11月5日には霧島市役所にて記念講演や加盟都市同士の意見交換が行われ、史跡の整備・活用方法や縄文都市の今後の魅力の発信について語り合いました。6日には本園にて記念植樹や視察が行われました。



全国縄文都市
代表者による記念植樹



サミットの様子

記念秋まつり

縄文の森秋の恒例イベント“縄文の森秋まつり”。定番のステージショーや縄文体験、クイズ大会やお楽しみ抽選に加え、20周年記念とし、吉野ヶ里歴史公園（佐賀県）など県内外の博物施設を招いて体験ブースを設け、さらに霧島市のマルシェも同時開催し、かつてない盛り上がりを見せました。



体験の様子



国分中央高校ステージパフォーマンス

記念巡回展

「縄文の森開園20周年」と「奄美群島日本復帰70周年記念」を記念し、奄美市立奄美博物館にて記念巡回展を開催しました。本園として初の巡回展であり手探りの中での開催でしたが、奄美群島内の多くのお客様に観覧していただき、2月11日に行われた講演会とワークショップには定員を上回るお客様の参加がありました。南の縄文文化を奄美群島に紹介する貴重な機会となりました。



開園20周年記念
奄美巡回展



開園20周年記念
奄美巡回展ワークショップ